

事業計画書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会</p>				
<p>事業名称</p>	<p>手話で話そう 夏休み手話教室事業</p>				
<p>事業実施期間</p>	<p>(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月31日までの期間であること。) 令和8年4月1日 ～ 令和8年10月31日</p>				
<p>1. 事業の目的</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="288 517 379 1400"> <p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p> </td> <td data-bbox="379 517 1484 1400"> <p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例が令和3年3月15日に施行され、枚方市では手話に対する理解及びろう者に対する理解並びに手話の普及の促進に関する基本的な事項を定めることにより、障害がある人もない人も全ての市民が互いに支え合い、尊重し合いながら、心豊かに、安心して、地域の中で自立して生活し、あらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できる住みよいまちの実現をめざすとあります。条例の施行から7年が経ちますが、もっと手話に対する理解や手話の普及を目指したいと思います。</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 夏休みを活用し、子どもたちがろう者と会い、手話で語り、手話を覚えていただくと考えました。また聞こえない子どもが同じ聞こえない大人をロールモデルとしていただきたいと考えました。</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 聞こえない人、聞こえにくい人の理解がなかなか進まない。文字で書けば通じると未だに思われている。大切な手話コミュニケーションが理解されていない。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 子どもたちに、ろう者とふれあい手話を学んでいただくことで、人への思いやりの大切さや人権のことも考えてもらえる。障害者への差別意識がなくなる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="288 1400 379 2067"> <p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p> </td> <td data-bbox="379 1400 1484 2067"> <p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 手話の普及により、住みよいまちづくりをめざす。 教室に参加する聞こえない子どもたちも、教室に参加する聞こえる子どもや聞こえない大人達と、交流できる場作り。</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 &lt;枚方市民への効果&gt; (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代が、手話を通じて、豊かな教育環境を確保できる。 ・市民が手話に興味を持ち、手話を学ぶきっかけとなる。 &lt;確認方法&gt; (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 参加者にアンケートを実施する。</p> </td> </tr> </table>	<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p>	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例が令和3年3月15日に施行され、枚方市では手話に対する理解及びろう者に対する理解並びに手話の普及の促進に関する基本的な事項を定めることにより、障害がある人もない人も全ての市民が互いに支え合い、尊重し合いながら、心豊かに、安心して、地域の中で自立して生活し、あらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できる住みよいまちの実現をめざすとあります。条例の施行から7年が経ちますが、もっと手話に対する理解や手話の普及を目指したいと思います。</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 夏休みを活用し、子どもたちがろう者と会い、手話で語り、手話を覚えていただくと考えました。また聞こえない子どもが同じ聞こえない大人をロールモデルとしていただきたいと考えました。</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 聞こえない人、聞こえにくい人の理解がなかなか進まない。文字で書けば通じると未だに思われている。大切な手話コミュニケーションが理解されていない。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 子どもたちに、ろう者とふれあい手話を学んでいただくことで、人への思いやりの大切さや人権のことも考えてもらえる。障害者への差別意識がなくなる。</p>	<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p>	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 手話の普及により、住みよいまちづくりをめざす。 教室に参加する聞こえない子どもたちも、教室に参加する聞こえる子どもや聞こえない大人達と、交流できる場作り。</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 &lt;枚方市民への効果&gt; (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代が、手話を通じて、豊かな教育環境を確保できる。 ・市民が手話に興味を持ち、手話を学ぶきっかけとなる。 &lt;確認方法&gt; (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 参加者にアンケートを実施する。</p>
<p>長期的な視点(複数年単位)で記入</p>	<p>(1) 取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 手話でつむぐ住みよいまち枚方市手話言語条例が令和3年3月15日に施行され、枚方市では手話に対する理解及びろう者に対する理解並びに手話の普及の促進に関する基本的な事項を定めることにより、障害がある人もない人も全ての市民が互いに支え合い、尊重し合いながら、心豊かに、安心して、地域の中で自立して生活し、あらゆる社会生活に参加し、いきいきと活動できる住みよいまちの実現をめざすとあります。条例の施行から7年が経ちますが、もっと手話に対する理解や手話の普及を目指したいと思います。</p> <p>(2) 動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 夏休みを活用し、子どもたちがろう者と会い、手話で語り、手話を覚えていただくと考えました。また聞こえない子どもが同じ聞こえない大人をロールモデルとしていただきたいと考えました。</p> <p>(3) 取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 聞こえない人、聞こえにくい人の理解がなかなか進まない。文字で書けば通じると未だに思われている。大切な手話コミュニケーションが理解されていない。</p> <p>(4) 取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 子どもたちに、ろう者とふれあい手話を学んでいただくことで、人への思いやりの大切さや人権のことも考えてもらえる。障害者への差別意識がなくなる。</p>				
<p>事業実施期間の視点(単年度)で記入</p>	<p>(5) 申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 手話の普及により、住みよいまちづくりをめざす。 教室に参加する聞こえない子どもたちも、教室に参加する聞こえる子どもや聞こえない大人達と、交流できる場作り。</p> <p>(6) 申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 &lt;枚方市民への効果&gt; (誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること) ・枚方市の子どもやその親世代が、手話を通じて、豊かな教育環境を確保できる。 ・市民が手話に興味を持ち、手話を学ぶきっかけとなる。 &lt;確認方法&gt; (参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること) 参加者にアンケートを実施する。</p>				

2. 事業内容等	<p>(1) 事業の対象者 (例: 枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話に興味がある小学生と保護者 (聞こえる児童、聞こえない児童) (主に枚方市民を対象。市外在住の方でも希望があれば参加を受け入れる)</li> </ul>
	<p>(2) 事業の実施場所 (移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枚方市総合文化芸術センター別館 大会議室</li> </ul>
	<p>(3) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話に興味のある児童と保護者を募集し、当事者 (ろう者) と交流しながら手話を覚えていただく。</li> <li>・聞こえない児童と聞こえない大人との出会いを通じて将来のロールモデルとしていただく。</li> <li>・参加募集は、手話教室に通っている生徒や協会の会員を通じて募る</li> <li>・参加者をグループに分け、各グループにろう講師とアシストを配置し、グループごとに絵カードを活用して手話を学ぶ。</li> <li>・生活で使う、身近な手話を教えて、聞こえない人とのコミュニケーションを楽しんでもらう。</li> </ul>
3. 実施スケジュール	<p>( 事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること) ※添付も可</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月 募集チラシ作成 修了証のイラスト作成 ろう講師に説明</li> <li>・5月 教材準備 手順計画書作成 修了証缶バッジ発注</li> <li>・6月 開催場所の予約 ろう講師、スタッフ打合せ</li> <li>・7月 シミュレーション実施</li> <li>・8月 実施予定日 (8月2日 日曜日)</li> <li>・9月 アンケートの集計など</li> <li>・10月 事業報告書作成</li> </ul>
4. 事業実施の体制	<p>(1) 人員体制 (実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務スタッフ : 3名</li> <li>・教材作成等 : 7名</li> <li>・ろう講師 : 10名</li> <li>・会場スタッフ 受付・販売・誘導 (聴者) : 8名</li> </ul>
	<p>(2) 事業対象者の見込み数 (例: 参加者●名など現時点の想定人数を記入すること)</p> <p>手話教室参加者 : 70名</p>
	<p>(3) その他の体制 (寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること)</p>

<p>5. 自立的・継続的に活動していくための工夫</p>	<p>(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども向けの手話教室を実施する</li> </ul>
<p>6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の総合的な学習の時間に手話指導を行った。</li> <li>・ひらかたまつりや地域の祭りで手話ミニ教室を行った。</li> </ul>
<p>7. 事業のPR方法</p>	<p>(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当協会のブログ、Facebookで配信</li> <li>・各生涯学習市民センターにチラシを配布し掲示を依頼</li> <li>・枚方市役所障害企画課へ掲示を依頼</li> <li>・枚方市内の手話サークルへ案内</li> <li>・障害者活動支援センターなどにチラシを配布</li> </ul>
<p>8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定</p>	<p>助成金等の予定 有り (申請中を含む) ・ <input type="checkbox"/> 無し (本補助金のみ)</p> <p>助成金等の名称 ( )</p> <p>申請中の場合、申請結果が確定する予定日 ( 令和 年 月 頃の見込み)</p>
<p>9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など</p>	<p>手話の教材 (手話の学び方) を添付します。</p>

## 事業収支予算書

団体名：特定非営利活動法人枚方市手話通訳協会

補助対象事業の名称：	手話で話そう 夏休み手話教室事業
事業実施期間：	令和8年 4月～ 令和8年 10月

## 【収入の部】

項目※1	予算額(円)	内容説明(積算根拠等)
枚方市補助金(一般)(A)	121,300	補助金交付申請額(一般寄附)
枚方市補助金(団体)(B)	275,000	補助金交付申請額(団体希望寄附)
自己資金	0	
合計(C)	396,300	

## 【支出の部】

項目	予算額(円)	内容説明(積算根拠等)
補助対象経費	会場費	6,900 (午後の部)枚方市総合文化芸術センター別館大会議室
	消耗品費	23,100 修了証缶バッジ 56mm 100個 (220円×100個)+基本料1,100円
	教材費	24,200 気持ち絵カード 2,420円×10ヶ
	教材費	72,600 ことば絵カード 3,630円×10ヶ×2組
	教材費	49,500 動作のことば学習カード4,950円×10ヶ
	講師料(ろう者)	100,000 10,000円×10人
	人件費 (アシスト料(聴者))	100,000 当日アシスト、通訳、受付 10,000円×10人
	人件費(文書作成)	15,000 修了証作成・案内書等作成に関わる人件費5,000円×3人
	消耗品費	5,000 案内チラシ、修了証作成の用紙、インク代
小計	396,300	
補助対象外		
	小計	0
合計(D)	396,300	

※1：事業に係る収入はすべて記入してください。

※2：収入の合計(C)＝支出の合計(D)となるように記入してください。

※3：枚方市補助金(一般)(A)は、補助回数により記入可能な金額が異なります。  
(詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること)※4：枚方市補助金(団体)(B)は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。  
(通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること)